

ちむ美らさ

第103号

発行: 北部農林水産振興センター
農業改良普及課

住所: 沖縄県名護市大南1-13-11

電話: 0980-52-2752

FAX: 0980-51-1013



-目次-

1P・新農業士認定

2-3P・北部農業士紹介

4P・かぼちゃ着果安定

5P・さとうきびスマート農業

・外来雑草カワリハトウダイ

6P・伊是名村の農業

令和2年度 沖縄県指導農業士認定証書等授与式

～北部地区から2名の新リーダーと新たな名誉農業士が誕生～



10月14日にホテルゆがふいんおきなわにて令和2年度沖縄県指導農業士認定証書等授与式が開催されました。(県全体の認定式は、新型コロナウイルス感染拡大の影響により中止)

新規に認定された2名の応援に、地元市町村職員、先輩農業士も出席し激励しました。

また、これまでの活動において顕著な功績を残された農業士に対し名誉と位置づけ感謝状が贈呈されました。

指導農業士: 久志 一 氏
(宜野座村: マンゴー)

地域のマンゴー多量生産者として表彰歴があり、生産者として高く評価されています。また、第11回沖縄県マンゴーコンテストでは、地域農家のリーダーとしてエントリーした団体部門において、団体賞を受賞し、宜野座村マンゴーの生産振興に大きく貢献しました。今年度からは、宜野座村農業後継者育成センターの指導員として任命を受ける等、更なる活躍が期待されています。

女性農業士: 神谷 昌子 氏
(今帰仁村: 観葉切葉)

沖縄県花卉品評会では、これまでに複数回の受賞歴があり、栽培技術も高く評価されています。所属組織で副会長を務める他、出荷団体の枠を越えて花卉生産者との交流を図っており、女性農業者の育成及び組織活性化にも貢献しています。女性の労働力で栽培可能な管理方法や働き方等の工夫を行いながら生産技術向上に取り組んでいます。今後、更なる活躍が期待されています。

名誉女性農業士: 金城 美代子 氏
(名護市: さやいんげん・ゴーヤー)

県の野菜品評会で、多くの受賞歴があり、栽培技術が高く評価されています。さやいんげんのジベレリン処理技術への取り組みや勉強会の開催を通して、地域農業振興、担い手の育成に大きく貢献してこられました。また、女性組織や「やんばる朝市かあちゃんの家」を発足する等、女性活躍の場の推進、地産地消にも積極的に取り組んできました。この活動を通して、地域の青年農業者や新規就農者等に対して技術指導を行っており、さまざまな場面で女性農業士としての役割を發揮されています。



(担当: 仲宗根琢洋)

～北部農業士会～ (令和2年10月14日作成)

本気で農業したい方に農業のアドバイスをします！

◎事務局
 沖縄県北部農林水産振興センター農業改良普及課
 〒905-0015 名護市大南1-13-11
 TEL: 0980-52-2752

伊江村



大城淳吉 (トウガン・カンショ)



友寄澄子 (キク・ドラセナ)



知念治夫 (繁殖牛)



島袋あさ子 (葉タバコ・島ラッキョウ)



並里幸宏 (キク)



儀間 幸太 (島ラッキョウ・サトウキビ)

伊平屋村



東 一幸 (繁殖牛)



仲川 喜清 (たまねぎ)

伊是名村



名嘉好子 (野菜)



上原克也 (繁殖牛)



宮城安志 (サトウキビ・野菜)

国頭村



親川 登 (キク・ゴーヤー)



前川尚之 (繁殖牛)



宮城 満 (繁殖牛)



山城弘一 (パイン・柑橘)



枝川 奏 (観葉鉢物)

大宜味村



金城笑子 (農産加工)



喜友名慶子 (酪農)



大城 厚 (マンゴー)



比嘉 悟 (キク・シークワーサー)

東村



仲嶺久美子 (パイン)



大城康子 (パイン)



玉城忠男 (パイン・柑橘)



又吉桂子 (マンゴー)



福島敬之 (パイン)



本部町



仲宗根秀光 (キク)



饒波和子 (マンゴー、アセロラ)



知念一義 (キク)

名護市



比嘉 猛 (茶)

任務・役割

- ・新規就農希望者の研修受入
- ・研修会、講習会等の助言や講師を務める
- ・地域農業の発展やコミュニティ活動の推進者
- ・行政への提言と地域農業振興協力者
- ・男女共同参画の実現に向けた推進協力者

宜野座村



安富 慧 (洋ラン)



平識善通 (繁殖牛)



仲栄真盛之 (マンゴー・キク)



大城 淳 (キク・ベビーリーフ)



金城 誠 (キク)



★ 久志 一 (マンゴー)

今帰仁村



与那嶺 修 (キク・ゴーヤー)



島袋資高 (スイカ・ゴーヤー)



比嘉峯夫 (マンゴー)



山城 透 (スイカ)



小那覇安朗 (繁殖牛)



★ 神谷 昌子 (観葉切葉)



西平賀盛 (繁殖牛)



具志堅 力 (キク)



高良 久 (柑橘・野菜)



並里哲子 (アセロラ)



平良 哲 (ヘチマ・ゴーヤー・ピーマン)



大城 綱徹 (繁殖牛)



★ 金城美代子 (インゲン・ゴーヤー)



川上達也 (水稻)



山城 悟 (カボチャ・野菜)



岸本信子 (洋ラン)



上原 豊 (マンゴー)



仲里安昭 (キク・トマト)



大城和也 (サトウキビ)



比嘉政昭 (カボチャ・ゴーヤー)



比嘉克也 (トマト・水稻)



上原克章 (ピーマン・水稻)



比嘉恒正 (肉用牛繁殖)



屋嘉比淳 (観葉花卉)

恩納村



當山君子 (水稻)



仲村 肇 (柑橘・ドラセナ)



當山君子 (繁殖牛)



外間 勝嘉 (ドラセナ)



照屋和江 (パッション・アテモヤ)



大城 保 (トマト・ゴーヤー)

金武町



津嘉山徳子 (野菜)



宜野座愛子 (田芋)



嘉数義政 (複合経営)



仲地 研 (観葉切葉)



大城一秀 (マンゴー)



嘉数昇 (田芋・水稻・野菜)

かぼちゃの着果を安定させるために

11月から12月にかけては、10月播種カボチャの受粉時期となります。適切に受粉を行い、かぼちゃの着果を安定させるために、以下のポイントに注意しましょう。

自然受粉の特徴

- 主にミツバチによって行われる。
- ミツバチの訪花適温は18～25℃
- 降雨や低温になるとミツバチが飛ばなくなる**
- 農薬の種類によってはミツバチへの影響が大きい**

着果を安定させるには…

受粉時期と農薬のミツバチへの影響日数を考慮し、気温の低い日や、雨の日には人工受粉をすることが重要！

ミツバチへの影響日数（かぼちゃ栽培で使用される農薬を一部抜粋）

スタークル顆粒水和剤	14日	ベネビアOD	1日
ダントツ水和剤	25日	モスピラン顆粒水和剤	1日
ディアナSC	3日	コサイド3000	1日

※令和2年度静岡県農薬安全使用指針・農作物病害中防除基準を参照

播種のタイミングごとの受粉時期の目安

作型	10月			11月			12月			1月			2月			3月			4月			
	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	
10月	播種				受粉																	
11月				播種				受粉														
12月							播種						受粉									
平均気温 (名護市)	26	25	24	23	21	21	19	18	17	17	16	16	16	17	17	17	17	19	20	20	21	22

※播種時期が遅れると、1～2月の低温時期に受粉を実施することになる

低温時期でも花粉稔性がえびすよりも高い栗将軍等の品種を1、2割導入することも重要

・雨天時の人工受粉の方法（**雌花を濡らさないことがポイント**）



①開花前日の雌花を見つけ

②使い捨てコップを被せる

③開花した雌花のコップを取り

④受粉後、再びコップを被せる

さとうきびスマート農業プロジェクト

さとうきび生産の
新たな取り組み
魅力向上！

ゆがふ製糖、JAグループが主体になり、さとうきび生産にICT(情報通信技術)を活用したスマート農業が、国頭村安波土地改良区8カ所計5.5haで、今期の夏植えで実施されています。このプロジェクトでは、衛星利用測位システム(GPS)を利用した自動操舵システムを搭載したトラクターを使いさとうきびの植付をビレットプランターで行っています。トラクターの操縦席にはタブレットモニターが設置され、圃場の面積、畝の状況、作業位置が把握できます。自動操縦のため、時速約7キロの速さで、等間隔、真っ直ぐな畝で植付し、作業の速さと正確さを実感できます。同プロジェクトでは、スマート農業で、植付作業から作業管理、収穫までを効率化した生産体制の確立・普及を目指しています。また、植付前に、リッパーによる土壌の硬化・排水改善、石灰岩砕石による酸度矯正、堆肥投入による土壌改良が行われ単収アップにも取り組んでいます。

10月7日に
実演会が
開催されました。



自動操舵
による
真っ直ぐ、
等間隔
の畝



外来雑草「カワリバトウダイ」にご注意ください！

最近、宮古島のさとうきびほ場、本島中南部の露地ほ場にて、防除の難しい雑草が増えています。伊是名島でも散見され、北部地域での侵入・分布域の拡大が心配されています。問題となる前に防除を徹底しましょう。



(カワリバトウダイの特徴)

- ・草丈は30～60cm程度。
- ・花は小さい(写真1)。種子は極めて小さい(写真2)。
- ・葉の形が部位により異なる(写真3)。
- ・茎から根が発生し、種子以外でも増える(写真4)。



年中生育
します

繁茂すると
防除が大変



すき込み
注意！！

・カワリバトウダイが大きくなる前に、除草剤等を用い防除することが重要です。

さとうきびでは「センコル水和剤」※、カンショでは「レンザー水和剤」※が効果的です。

(※土壌処理剤。他の薬剤については試験中)

・農薬の使用にあたっては、ラベルを確認して適正に使用しましょう。

(担当：山城、崎山)

伊是名村の農業

伊是名村では、さとうきび、水稻を中心にタマネギ、かぼちゃ等の園芸品目が栽培されています。今回は各品目の生産状況を紹介します。

さとうきび

さとうきびは、伊是名島において最も生産額が多く、北部地区の約30%を占める品目です(図1)。単収は4,8t/10a^{注1)}と北部地区平均(4,0t/10a)に比べ高く、機械収穫も約80%と進んでいます。伊是名村はイネヨトウの発生が続いており、毎年共同防除(写真1)を実施し被害のまん延を防いでいます。単収向上のため基本的栽培技術(防除・かん水)等の適期実施に組んでいます。

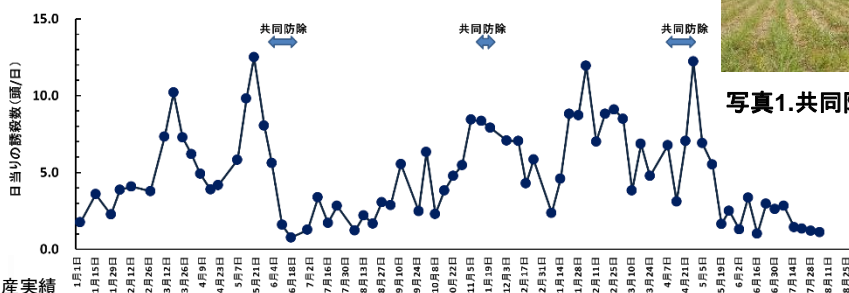
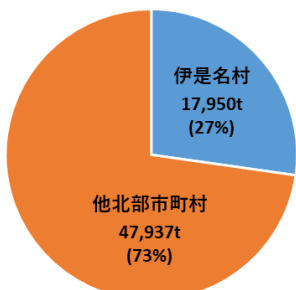


写真1.共同防除

図1.北部地区さとうきび生産量

注1) 令和元年/2年期さとうきび及び甘蔗糖生産実績 (沖縄県糖業農産課)

フェロモントラップによるイネヨトウ発生消長 (H31.1.1~R02.8.12)

水稻

伊是名村では、「ひとめぼれ」を1期作のみ栽培しています。今期の生産量は192t、生産面積45haと共に前年並みでした。収穫された水稻は「尚円の里」として村内で消費されています(写真3)。一部は村内の酒造所に出荷され、泡盛原料としても利用されています。



写真2.ひとめぼれ収穫風景(R01)



写真3.尚円の里

園芸品目

伊是名村では、施設品目としてパパイア、露地品目としてタマネギ、かぼちゃ等が栽培されています。生産者の技術向上及び単収向上の諸課題解決に向け、関係機関と連携し生産振興に取り組んでいます。

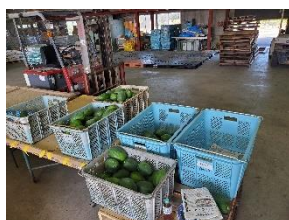


写真4.パパイアの出荷



写真5.品種適応性調査ほ(タマネギ)



写真6.栽培講習会(かぼちゃ)

(担当: 崎山)